

国際シンポジウム

「日本美術がつなぐ博物館コミュニティ： ウィズ／ポスト・コロナ時代の挑戦」

2021年1月30日（土）

オンライン開催



「Boundless: Stories of Asian Art」展（2020年シアトルアジア美術館開催）展示風景

開催趣旨

新型コロナウイルスの世界的な流行は、私たちの生活や意識に激的な変化をもたらしました。国内外のミュージアムにおいても、感染防止対策と並行して、事態収束後の新しいミュージアムの姿を模索する試みが行われています。

このような状況をふまえ、令和2年度は「日本美術がつなぐ博物館コミュニティ：ウィズ／ポスト・コロナ時代の挑戦」と題し、リモートによる国際シンポジウムを開催いたします。

このシンポジウムでは、次の2つのテーマを設定しました。第1のテーマとして、国境を越えた移動制限の下で、日本美術にどのように向き合い、研究成果を発信していくのかについての実践的な取り組みを報告していただきます。第2のテーマは、デジタルならではの利点を活用した博物館活動のあり方についてです。休館中のミュージアムから、自館のウェブサイトやオンラインチャンネルを活用し、リモートで博物館活動を行った経験から得られたものを通じて、そのメリットとデメリットについて語っていただきます。

現在、なお多くの人々が未知の感染症に苦しみ、明日への見通しが得られない状況にあります。そういう今だからこそ、このシンポジウムをきっかけにミュージアムの可能性と未来について考え、世界へと発信していきたいと考えます。

東京国立博物館 調査研究課長
河野 一隆

国際シンポジウム

「日本美術がつなぐ博物館コミュニティ： ウィズ／ポスト・コロナ時代の挑戦」

2021年1月30日（土）

オンライン開催

13:30-13:40 開会

主催者挨拶 銭谷真美 東京国立博物館 館長
司会 河野一隆 東京国立博物館 調査研究課長

13:40-14:20 基調講演 樋田豊次郎 東京都庭園美術館 館長

「異文化を吸収する度胸」

14:25-14:45 発表1 シャオチン・ウー シアトル美術館 日本・韓国美術担当学芸員

「異文化における日本美術の発信—シアトルアジア美術館の場合」

14:45-15:05 トークセッション 後藤恒（福岡市美術館 主任学芸主事）

15:10-15:30 発表2 ウィブケ・シュラーペ ハンブルク美術工芸博物館 東アジア課長

「コロナ禍でのハンブルク美術工芸博物館における日本美術コレクションの活用」

15:30-15:45 トークセッション メアリー・レッドファーン（チェスター・ビーティー 東アジア美術担当学芸員）

15:55-16:15 発表3 アーロン・リオ メトロポリタン美術館 日本美術担当学芸員

「コロナ時代のメトロポリタン美術館におけるデジタル戦略」

16:15-16:30 トークセッション ローラ・アレン（サンフランシスコ・アジア美術館 学芸部長、日本美術担当学芸員）

16:35-16:55 発表4 猪熊兼樹 東京国立博物館 特別展室長

「雪に耐えて梅花^{うらわ}麗し コロナ禍における東京国立博物館の特別展」

16:55-17:10 トークセッション 実方葉子（泉屋博古館 学芸部長）

閉会
